

《新闻话语》“原油价格上涨”

所谓“原油价格上涨”，指的是原油（提炼前的石油）价格高涨。近年来，原油价格不断上涨，其原因何在呢？

日本，一半的能源都依靠石油，而石油的绝大部分，又依靠海外进口。日本的石油进口量仅次于美国，居世界第二位。向日本输出石油的，主要是沙特阿拉伯、伊朗及科威特等中东国家。基于这样的状况，那么发生在中东一些国家的恐怖袭击及战争，便成为石油供给危机的第一大原因。其次，以美国、中国为主的国家，其石油需求量的增大，也可以认为是供给危机发生的另一原因。另外，据说去年的龙卷风给美国南部所造成巨大损失，也为“原油价格上涨”起到了“快马加鞭”的作用。

原油价格于是因上述各种原因的综合作用，而不断地高涨。

“原油价格上涨”，给我们的日程生活带来了各种各样的影响。首先是汽油涨价。截至2006年8月7日为止，全日本汽油价格的平均涨幅，与前一周相比，一公升无铅汽油的价格上升至143.7日元，涨了6.3日元，这也刷新了1990年10~12月海湾战争爆发时一公升142日元的上涨记录。另外，冬季即将来临，人们过冬时必不可少、用于取暖的灯油价格发生上涨，也会给我们的家庭经济造成负担。其次，伴随燃油价格的上涨，交通机关也随着对运价进行了调整。比如，山形县公共汽车的运价上调了5%；长野县天然气出租车运价上调了一、二成；日本航空（JAL）及全日本运输（ANA），

《ニュースの言葉》「原油高騰」

「原油高騰」とは、原油（精製前の石油）価格の高騰を意味します。最近、原油価格が、年々上昇しています。その原因は何でしょう？

日本はエネルギーの半分を石油に頼っており、その石油のほとんどを海外から輸入しています。石油輸入量は、アメリカに次いで世界第2位で、主な輸入相手国は、サウジアラビア、イラン、クウェートといった中東諸国です。このような背景を踏まえれば、中東諸国でのテロや戦争による供給不安がまず第一の要因と言えるでしょう。次に、アメリカ、中国を始めとする世界的な需要拡大も要因のひとつとして考えられています。また、昨年、アメリカ南部を襲ったハリケーンによる被害も更なる「原油高騰」に拍車をかけたと言われています。

以上のようなことを含む様々な原因により、原油価格が高騰しているのです。

「原油高騰」は、我々の生活に様々な影響を与えています。まず、ガソリン代の値上がりです。2006年8月7日現在の全国平均で、前週比上げ幅がレギュラーガソリンで6.3円高の1リットル143.7円となり、1990年10~12月の湾岸危機当時の142円を更新しました。また、これから迎える寒い冬に欠かせない暖房用の灯油の値上がりも家計を圧迫することでしょう。次に、燃料費の値上げに伴う交通機関の運賃値上げです。例えば、山形では、バスの運賃が平均5%、長野では、LPGガスタンクの運賃が1、2割程度、日本航空（JAL）や全日本空輸（ANA）の国際線の運賃も700円~5600円値上がりしました。さらに、製造

将其国际航线的运价上调了700~5600日元。此外因为造纸成本的提高，纸张价格将开始上涨。比如，由于电力公司已经将电费进行了上调，因此卫生纸、纸尿布及复印纸等纸张制品，也不可避免地要跟着涨价。

基于这种情况，近一段时间，可以取代石油的能源，越来越受到人们的关注。它包括利用太阳能、风能及地热资源来发电，或是栽培以蔗糖及大豆等为原料的植物性燃料等等。这些动向，将来或许会对“原油价格上涨”起到抑制作用，只是于我们来说，现在能立即采取的对策便是：重新审视一遍我们迄今为止的生活方式，进一步提高“节能”意识，节省哪怕一滴石油，也是十分重要的。

コスト上昇を理由とした値上げです。例えば、電力会社がすでに電気料金を値上げしており、ティッシュペーパー、紙おむつ、コピー用紙といった紙製品の値上げも避けられそうにありません。

このような状況の下で、最近では石油に代わるエネルギーへの注目度が高まっています。それは、太陽光、風力、地熱を利用した発電やサトウキビ、大豆などの植物を原料とした燃料などです。これらの動向は、将来的に「原油高騰」の歯止めをかけてくれるかもしれません。ただ、我々が今すぐできる対策として、今までのライフスタイルを見直し、より「省エネ」に心がけることにより、少しでも石油の使用量を減らすことも大切でしょう。

